



# めざせ！！南十字星

★夢と勇気と元気をもって★ 2022.1.10

学校だより

## 新春号

ヨハネスブルグ日本人学校

### 新年明けましておめでとうございます。

### 2022年もどうぞよろしくお願い致します。

新型コロナウイルスの変異株オミクロンの出現で慌ただしく暮れた2021年、皆様にとってどのような年だったでしょうか。新たな2022年はコロナが落ち着き、先の見通せる希望に満ちた年であってほしいと切に願うところです。

さて、J S Jも1月6日(木)に3学期を始動し、始業式を行いました。午前8時40分より、体育館にて、在校児童生徒に3学期から転入して来た3名を加え合計27名でのスタートです。

まず、校歌斉唱のあと、3学期の抱負をG4の井上愛然君とG6の根本優月さんが発表しました。二人とも苦手なことを克服し、得意を伸ばして充実した3学期にしたいとの内容でした。そのあとの校長講話では、寅年にちなんで「猛虎千里を駆ける」ということわざの話をしました。新年並びに3学期が身に付けた力を十分に発揮でき、素晴らしい年(3学期)になるよう頑張りましょうとの思いを込めて話したところです。なお、始業式のピアノ伴奏は校歌をG4の金子果央さん、転入生歓迎の歌をG6の太田郁仁君が担当してくれました。二人とも見事に弾いてくれました。これも日頃から練習を積み重ねた成果だと思えます。このように今年も子ども達の活躍がたくさん見られる年でありたいと思えます。



### 3学期より3名の転入生が仲間入り！！

3学期から3名の転入生が仲間入りしましたので紹介します。G1樋口直紀くん、G5青木世安くん、G5楊湧太くんです。

3人ともJ S Jの入学を楽しみにしていたようで、1日目、2日目の授業後の感想を聞くと「とても楽しかったです。頑張ります。」との返事、これからの活躍が楽しみです。



- ◆ 令和3年度キーワード 「1に安全, 2に教育, 3に信頼」
- ◆ めざす学校の姿 「夢と勇気と元気をもって、みんなで作ろう楽しい学校」
- ◆ 先生と子ども達の合言葉 「あいさつが元気, えがおが元気, こころが元気」

### <校長室からひとりごと> ~「猛虎千里を駆ける」と「努力」の2文字~

今年の夏は、南ア生活3年の中で一番に雨が少なく、涼しい日々が続いており例年になく南アの快適さを実感しているところだ。

さて、南アにいと正月という感覚が薄らぐが、時は確実に進み、新たな年を迎えた。私は元旦に初日の出を浴びる事を恒例行事としているが、今年はブライドリバー・キャニオンの出発地点であるグラスコップのブリティッシュ式庭園の素敵なゲストハウスで迎えることにした。午前5時40分、大晦日の大雨で少し雲が多い状況だったが、雲の隙間から光が差し始め、庭園越しに見える丘陵地帯の稜線がくっきりと浮かび上がってきた。今年も御来光が浴びられる幸せを感じながら写真に数枚収め、おもむろに手を合わせ、「コロナが早く収まり平常の生活が送れるように」と強く願ったところだ。



このように今年もコロナ禍でのスタートとなったが、始業式では、子ども達にコロナに負けず、多くの学びを獲得して飛躍してほしいという願いを込めて、私の好きな言葉「猛虎千里を駆ける」話をした。そして、飛躍できる裏には日頃の地道な努力の積み重ねが必要であることも付け加え、壇上を降りた。今年も派遣教員9名と現地スタッフと力を合わせ、子ども達に力と自信をつけさせる教育活動に邁進していきたい。どうぞよろしく申し上げます。